

あなたこなたへ持てありくはわろし、又末座へ出たる物を、貴人の御前へ又まいらするは、  
ゑか  
るべからず、

〔宗五大草紙上〕公方様諸家へ御成の事

一 一獻の時、折土器物出候事、五六獻めよく候、乍去三四獻めに、出候而も能候べし、時宜によるべし、又土器の物きとしたる時は、古は出候はず、近年御前などへも參候、

〔大草殿より相傳之聞書〕一かはらけの物、二ツだての時、左はやき鳥、右はきりかまぼこ、しせんしやうじんと魚とをもる事もあり、

一 しやうじんと魚類の時、しやうじんは左、魚は右、しやうじんと鳥とをつがふ事あるまじく候、

一 かはらけの物、盛物には小串の物、かまぼこ、たゝみずるめ、まきいもよし、くろに、ふとに、小ゑび、此内一いろもる也、是には、えやうじんつかひてもくるしからず、

一 かはらけ物三ツだての時、臺のはゝながさはかくのごとし、をきやうりやうしてこしらへべく候、○以下二行 缺損

かはらけの物は、しのをきやう、三ツだてにも、二ツだてにも、繪圖の如く置也、

一 かはらけの物、高六寸たるべし、

一 かはらけ三ツだての時、あひの物たるべし、あひの物とは、三ど入よりすこしほそく、平かうよりはふとし、

一 かはらけの物、二ツだてのときは、五斗入たるべく候、

一 かはらけの物、盛様、中をあげ候て、まはり計候事、わろく候、中にはひばをつかみて、外にいで候はぬやうに盛る也、扱盛たて候て、上一寸ばかりをば、その物一いろにて、ひばをもしかず盛なり、